IKEDA History

いけれき

池田の歴史

コミュニティバスで たどる池田の道

今回のいけれきでは、池田町を通る歴史の道「谷汲巡礼街道」をたどります！
かつてたくさんの巡礼（旅人）で賑わったこの道では、多くの出会いや交流があったに違いありません。
池田町を走る無料バス「コミュニティバス」に乗って、歴史に思いをはせながら、新しい「出会い」の旅に出かけましょう！

コミュバスの旅 心得

1. 運賃は不要ですが、多少の不便も楽しむ心を持ちましょう。
2. 乗車時、運転手さんに行き先を伝えるとスムーズです。
3. バスの運行は平日のみです。（土日祝と年末年始は運休。）

! 暑さ・寒さ対策を怠ると過酷な旅になります。ご注意ください。

1 旅人の遺したお地蔵さま

街道沿いにたたずむ「乳くれ地蔵」は、四国からの巡礼、宥峰（ゆうほう）の願いで建てられました。巡礼街道の案内看板ともいえる「道標（みちしるべ）」にも彼の名前がばっちり刻まれています。

2 巡礼街道の分かれ道

こちらの道標には、「左へ進むと揖斐」と書かれています。大垣の赤坂から北へ続く谷汲巡礼街道は、ここ池野追分（おいわけ）で二手に分かれ、一方は横蔵寺、もう一方は谷汲山華厳寺へと向かいます。

旅人が迷わないように…とても親切です！

5 旅の目的地 池田恒興・元助父子の墓

池田恒興・元助は、姫路城主として知られる池田輝政の父と兄にあたります。ここは、池田家にとって大切な先祖の墓で、2人の子孫である岡山・鳥取藩主もたびたび訪れました。墓参りの帰り、谷汲巡礼街道を通ることもあったようです。

4 巡礼街道はこちら

とてもわかりやすい道標です。「右谷汲道」と書かれているように、右手に進めば谷汲巡礼街道があります。天保2年（1831）に建てられたこの道標は、行き交う人々の目印となったことでしょう。

3 涼雲寺西国三十三観音霊場供養塔

谷汲への道筋は、垂井方面から梅谷峠を越えてくる池田道、青墓・円興寺からの片山道などさまざまです。こうした巡礼の道が集まる涼雲寺門前に、三基の供養塔が建てられました。